

令和元年度 東京明新会総会・懇親会が6月22日に開催されました。

・日時：令和元年6月22日（土） 13時～17時

・場所：大崎ブライツコアホール （東京都品川区北品川5丁目5-15 大崎ブライツコア3F）

小雨が降るあいにくの天気でしたが、過去3年で最高の244名もの方々にご参加いただき、お陰様で会場がいっぱいになるほど大盛況な総会・懇親会となりました。

今年の福井・東京・近畿・東海・金沢、明新会総会が掲げる共通テーマは「栞」。今年度、総会・懇親会幹事を務めた平成4年卒業生は、第二次ベビーブームの中「昭和」に生まれ、「平成元年」に藤島高校に入学、そして「新たな時代・令和」の幕開けに藤島高校入学30年目という、幹事年を迎え、その大役のバトンを受け取りました。

人生を「本」に例えれば、「栞」はいつでも思い出せるように挟んだ目印。楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったことなど、誰にでも心に残る思い出のページがあります。その時々、何を思い、どんな時代を過ごしてきたのか？これまでの「栞」が道しるべとなり、そしてこの先の未来も、夢や希望に満ちた「栞」を手し、それぞれの人生のストーリーを歩んで行くであろうとの願いが込められています。

そして、東京明新会として今年置いたテーマが『藤島と明新会と福井ともっぺんつながろっさ！』。会員の皆さん同士、また愛着ある、福井・藤島とのつながりを再構築していただくことを目標に準備を進めてきました。

それでは、当日の写真とともに総会・懇親会の様子をご紹介します。

13時から行われた総会は、幹事学年である平成4年卒の杉山哲也実行委員長による開会のことばで幕を開けました。青山正喜東京明新会会長の挨拶に続き、来賓の皆様を代表して藤井健夫明新会理事長から祝辞をいただきました。



杉山哲也実行委員長



青山正喜東京明新会会長



藤井健夫明新会理事長

次に、藤島高等学校校長の田中幸治様より「母校の近況」として、藤島高校の取り組みや生徒の文武両道にわたる活躍をご紹介頂きました。高校2年生約30名が1週間ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学を訪れて英語漬けの1週間を送るグローバルチャレンジプログラム、全国大会優勝・世界大会準優勝の栄冠を勝ち取った英語ディベート部、全国読書体験記で最高賞（久保田琉仁さん）、全国高校生金融経済クイズ選手権で前回のベスト8から県勢として初の優勝（鷲田樹音さんと坪田実那美さん）、将棋部の県団体3連覇、運動部でもサッカー部の県大会ベスト4入りなど！ 関東ではなかなか知る機会の少ない母校の近況に、皆さん興味津々に耳を傾けました。



田中幸治藤島高校校長

また、山崎俊博東京明新会幹事長より会務・会計報告と会則一部改訂報告がありました。

その後は、ガラリと雰囲気を変え、今春、首都圏の大学に進学し新たに東京明新会の会員になられた初々しい新入会員13名をご紹介。突撃インタビューから、将来の夢などをお話しいただきました。今年の新入会員の皆さんは、田中校長先生にとって藤島校長赴任時に入学された非常に思い出のある卒業生で、懇親会でも一緒に写真を撮るなど大いに盛り上がっていました。



新入会員紹介

総会・懇親会の総司会は、テレビ局で活躍してきた現フリーアナウンサー、平成4年卒が誇る二人、堂下真奈美（元福井放送）と中山由佳（元福島中央テレビ）が務め、まさにプロ！という見事なコンビネーションで会場全体を盛り上げました。



堂下さん、中山さん元アナウンサーコンビ

今回の総会企画では、『藤島と明新会と福井ともっぺんつながろっさ！』をテーマに、東京に拠点を置きつつも、地元福井の活性化に積極的に取り組む3名の方によるトークイベントを開催しました。

まず、平成14年卒の高野翔(JICA職員)さんより、福井の人自らが企画、取材、撮影、執筆を行い、クラウドファンディングで資金を集めて発行した、嶺北地方の人々を紹介するガイドブック「福井人」や、昨夏に福井中央公園で開催された「できるフェス」のご紹介をいただきました。2018年福井豪雪に予定外の莫大なコストがかかったことで中止・縮小された公共事業（例：小学校の夏休みプール開放等）を高野さんが中心となってよびかけ、それら公共事業の意義に立ち返り、市民の力で手作りのイベントとして復活させた取り組みについてお話いただきました。

次に東京明新会初の高志高校出身の総会登壇者、内田友紀さん（平成14年卒）に登壇いただき、福井県で展開している「XSCHOOL/XSTUDIO」を通じ、福井に「新たな人の流れと仕事」を創造する活動についてお話しいただきました。

3人目は昭和61年卒の石田竜一さんが登壇され、自身が画策されている三拠点居住や、再開発だけでなく、街の活性化の手法、その具体例として、取り組まれている福井駅前商店街で事業をしたい人の声を活かした古いビルのリノベーションについてご紹介いただきました。

どのお話からも、ふるさと福井が置かれている現状をリアルに感じ、その状況に自ら飛び込み課題解決の手法を見出そうとする強い意志が感じられ、参加者は興味深く聞き入りました。

最後に、お三方全員がそろった質疑応答では、参加者からの質問にお三方から回答いただくなかで、ともに藤島卒業生・福井人として、遠く離れた母校・故郷と何か関われることはないか、もっぺんつながれることはないか、アイデアを捻りました。



高野翔さん



内田友紀さん



石田竜一さん



懇親会は、15時から山崎幹事長による乾杯の挨拶でスタート。秋吉の焼き鳥(総数 2,000 本以上！)やソースかつ、焼き鯖寿司といった福井の名物料理、永平寺にある「白龍」の蔵元、吉田酒造(吉田由香里社長と営業責任者の長女祥子さんが藤島ご出身)の銘酒の数々が振舞われ、出身中学や部活動などで配席した各テーブルで話が盛り上がりました。



山崎幹事長乾杯



懇親会の様子

その後、交流プログラムとして「QUIZ 藤島と福井をもっと知ろっさ」というテーマで、世代が入り混じったチーム対抗にて、ふるさと福井や藤島高校に関連したクイズに一喜一憂しながら世代間交流ができました。

エピソードクイズにインタビューで登場したのは、田中校長からの「母校の近況」でも紹介された、全国大会優勝・世界大会準優勝の英語ディベート部、全国読書体験記最高賞の久保田琉仁さん、全国高校生金融経済クイズ選手権県勢初優勝の鷲田樹音さんと坪田実那美さんら。海外生活経験がないメンバー中心に構成された英語ディベート部が、帰国子女中心で、授業も英語で行われるような都会のチームと決勝で戦い、見事勝利した臨場感あふれるエピソードも生徒さんの口から紹介され、会場は母校にいるかのような共感に包まれました。

見事優勝したのは至民中出身テーブルの皆さん！おめでとうございます！1位から3位には福井ゆかりの商品が全員にプレゼントされ、チーム一体となって盛り上がりました。このほか、参加者全員に福井のブランド米「いちほまれ」2合パックがお土産として提供されました。



クイズの様子



クイズ優勝チームに表彰



ふくい南青山 291 物産店

本年度もふくい南青山 291 様による物産コーナーを設け、福井の特産品の販売が行われました。



懇親会の様子

会場が身動きできないほどあちこちで会話の輪が広がり、盛り上がったところで、ゆかりある「福井中学校校歌」「福井高等女学校校歌」の校歌斉唱を行いました。

いよいよ懇親会も終盤、杉山実行委員長から次年度実行委員長の平成 5 年卒青山直人さんにクリスタルトロフィーを引き継ぎ、青山さんから挨拶と来年度の抱負をいただきました。

続けて恒例の参加者全員により藤島高等学校校歌を斉唱し、会場は一体感につつまれました。



福井中学校校歌斉唱



クリスタルトロフィー引き継ぎ



藤島高校校歌斉唱

最後は、毎年恒例の藤田道男東京明新会副会長による万歳三唱で盛り上がった後、平成 4 年卒副実行委員長の笠松美香より閉会のことばで総会に参加いただいた方々に感謝の意を述べ、本年度の総会・懇親会を閉幕しました。



笠松美香副実行委員長



万歳三唱

閉会後は、参加者の方々から、「福井に関わる方々のお話を聞いて、考えるきっかけとなった」、若手卒業生からも「初参加だったけど楽しかったです！」と、幹事冥利に尽きるお言葉をたくさん頂戴しました。

皆様のご支援を賜り、令和元年度東京明新会総会・懇親会を無事終了することができました。平成 4 年卒業生一同、心より感謝申し上げます。

来年は、平成 5 年卒の皆さん幹事のもと、6 月 20 日(土)に今年と同じ会場の「大崎ブライツコアホール」で開催されます。平成 5 年卒の皆様を応援しながら、来年また楽しいこの場で再会いたしましょう！

令和元年度 東京明新会総会実行委員会(平成 4 年卒業生) 一同